

一般社団法人山口県医師会平成29年度第18回理事会

平成29年12月7日(木) 午後5時～午後7時45分

河村会長、吉本・濱本副会長、弘山・萬・加藤・藤本・今村・沖中常任理事、白澤・香田・中村・清水・船津・前川・山下理事、藤野・篠原・岡田監事

協議事項

1 第3回都道府県医師会長協議会の議題について

提出された1件について協議を行った。

2 第7次山口県保健医療計画（素案）について

次期（平成30～35年度）計画の素案について協議を行った。今後は、パブリックコメントの実施、地域医療対策協議会（8圏域）での審議、医療審議会への諮問・答申等を経て、年度内の計画策定・公示となることが報告された。

3 地域医療構想調整会議について

各圏域で開催されている調整会議について、最近の動向など開催状況の報告があり、協議を行った。

4 子育て支援フォーラム in 山口について

本会が、日本医師会及びSBI子ども希望財団との共催で、平成30年1月27日（土）に山口市で開催する標記フォーラムのプログラムが承認され、開催に向けた取組みについて協議を行った。

5 県民の健康と医療を考える会総会について

持続可能な社会保障制度の確立に向けて、「国民が将来にわたり必要な医療・介護を安心して十分に受けられるための適切な財源の確保」、「国民と医療機関等に不合理な負担を強いている医療等に係る消費税問題の抜本的な解決」を県議会等に要望するため、12月19日に標記総会を開催することが決定した。

6 「平成29年度在宅医療関連講師人材養成事業研修会」の受講者推薦について

日本在宅ケアアライアンス主催、日本医師会共催の標記研修会の受講者について郡市医師会等から2名の推薦があり、受講対象者とすることが了承された。

7 小田悦郎 前県医師会長の叙勲受章記念祝賀会について

12月9日に開催する祝賀会の運営及び役職員の役割分担について協議した。

8 「山口ゆめ花博」の前売入場券販売への協力について

山口県より標記前売入場券の販売協力依頼があり、郡市医師会を通じて会員へ購入依頼を行うことが決定した。また、平成30年1月末の予約状況を踏まえ、その後の対

応を検討することとした。

9 「第 26 回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（山口大会）」への名義後援・協賛金並びに抄録への広告掲載について

平成 30 年 7 月 7・8 日に山口県社会福祉士会が開催する標記全国大会の名義後援、協賛金又は抄録への広告掲載の依頼があった。名義後援は承諾し、抄録へ広告の掲載をすることが決定した。

人事事項

1 診療情報提供推進委員会委員の委嘱について

標記委員 1 名の退任に伴い、後任委員の委嘱が決定された。

報告事項

1 医事案件調査専門委員会（11 月 16 日）

病院 1 件、診療所 1 件の事案について審議を行った。（中村）

2 郡市医師会学校保健担当理事連絡協議会・学校医部会合同会議（11 月 16 日）

8 月に開催された「中国四国医師会連合学校保健担当理事連絡会議」及び「中国地区学校保健・学校医大会」の会議内容が報告された。また、「学校医活動記録手帳」の提出率が、郡市医師会によって差があることから、活用率アップに向けて検討することとした。その後、事前に提出された意見・要望について協議を行った。（藤本）

3 第 2 回山口県国民健康保険運営協議会（11 月 16 日）

山口県国民健康保険運営方針（案）及び国民健康保険事業費納付金の徴収等について協議を行い、その後、運営方針の素案に対する市町からの意見について報告が行われた。（沖中）

4 献血推進ポスター・作文審査委員会（11 月 16 日）

山口県献血推進協議会が募集した標記ポスター及び作文について、部門ごとに最優秀、優秀、佳作を決定した。（河村）

5 山口県看護職員確保対策協議会（11 月 16 日）

「山口県の看護の現状」及び「看護学生の就職等に関するアンケート調査結果」について報告が行われた。（沖中）

6 地域医療構想調整会議・全体会議「宇部・小野田」（11 月 16 日）

「急性期医療連携検討部会」、「回復期・慢性期医療検討部会」、「地域包括ケア連携検討部会」での協議事項等の報告があった。その後、在宅医療・介護連携に関する関係市町の連携について協議を行った。（弘山）

7 第3回山口県高齢者保健福祉推進会議（11月17日）

県から、第六次やまぐち高齢者プラン（平成30～32年度）について、策定の趣旨、位置付け、高齢者等の将来推計、基本目標、施策体系及び検討中の数値目標等の素案について説明がされた後、幅広い観点から意見が出された。（河村）

8 医師事務作業補助者研修会（11月18日）

本会の清水理事により、介護保険主治医意見書の書き方について講演を行い、その後、記載に関する問題点と解決法について意見交換を行った。（中村）

9 第48回全国学校保健・学校医大会（11月18日）

「輝ける未来を築く子どもたちのために～今、学校医ができること～」をメインテーマに、三重県津市で開催された。午前中に開催された5つの分科会では、各地域における特色ある取り組みや活動報告が行われた。午後からは、「学校における子どもたちの健康教育について」と題してシンポジウムが行われた。また、特別講演は、皇學館大学の清水 潔 学長による「伊勢の神宮と日本の精神文化」と題した講演が行われた。
（藤本）

10 第48回全国学校保健・学校医大会都道府県医師会連絡会議（11月18日）

日本医師会、都道府県医師会、次期担当医師会関係者が出席し、大会の運営、次期担当医師会（鹿児島県）について協議を行った。（藤本）

11 医療対話推進者養成セミナー「基礎編」（11月18日・19日）

少人数でのグループワークや3人1組のロールプレイを通じ、医療現場における医療者と患者・家族の対話スキルを学ぶ標記セミナーを本会において開催した。ワークショップ「医療コンフリクト・マネジメント～対話が医療を拓く～」、「医療メディエーションの理論と技法」等について、全国土木建築国民健康保険組合総合病院厚生中央病院総合診療科（整形外科）医長 荒神裕之 先生及び尼崎医療生活協同組合尼崎医療生協病院医療の質・安全管理室 遊道桂子 室長を講師として開催された。（中村）

12 第146回山口県医師会生涯研修セミナー（11月19日）

午前中は、東京女子医科大学脳神経外科の平 孝臣 臨床教授による「脳神経機能外科の進歩」、名古屋セントラル病院ライソゾーム病センター・血液内科の坪井一哉 主任医長による「日常診療に潜むライソゾーム病ー見逃さないためのポイントー」、午後は、セントヒル病院の菅 一能 放射線室長による「PET 検査がどう役立っているか?」、国立がん研究センター先端医療開発センターの吉村 清 免疫療法開発分野長による「今、がん免疫療法に何が起きているのか?ーがん治療の新しい流れー」の特別講演4題が行われた。出席者54名。（加藤）

13 「有床診療所の日」記念講演会（11月19日）

日本医師会大講堂で開催された。日本医師会横倉会長等の挨拶の後、薩摩川内市下甕手打診療所前所長の瀬戸上健二郎 氏による「Dr. コトーの真実! 離島の有床診療

所での 39 年間」と題した基調講演が行われた。また、全国有床診療所連絡協議会の松原三郎 常任理事から熊本地震についての報告、「地域包括ケアシステムにおける有床診療所の役割」をテーマにシンポジウムが行われた。(河村)

14 第 1 回山口県医療費適正化推進協議会 (11 月 21 日)

国の「医療費適正化基本方針」(平成 28 年 3 月)に即して、次期「山口県医療費適正化計画」(平成 30~35 年)を策定することとなった。当日は素案が示され、協議を行った。(弘山)

15 山口大学医学部講義 (11 月 21 日)

山口大学医学部医学科 4 年生約 100 人に対して、「地域医療と医師会」と題して講義を行った。「医師会とは」「医学生や研修医への支援」「医師会の取組み(事業)」「かかりつけ医を中心としたまちづくり」等について説明を行った。また、自分流「家庭内トラブルの防止策」を披露し、大変好評であった。(河村)

16 国民医療を守るための総決起大会 (11 月 22 日)

国民医療推進協議会主催、東京都医師会の協力により、約 800 名の参加者の下に開催された。国民医療推進協議会長である横倉会長の挨拶後、今村副会長が趣旨説明をし、堀 憲郎 日本歯科医師会長、山本信夫 日本薬剤師会長、福井トシ子日本看護協会会長からそれぞれ決意表明が行われた。その後、猪口雄二 全日本病院協会会長が決議案を提案し、満場の拍手をもって採択された。最後に、松原副会長による「頑張ろうコール」が行われ終了した。本大会で採択した決議の他、全国で開催される同様の集会で採択された決議をもって、政府・与党、関係者等に上申していく予定で、本県では 12 月 19 日開催の「県民の健康と医療を考える会総会」で決議を採択する予定。(今村)。

17 健康スポーツ医学実地研修会 (11 月 23 日)

秋吉台国際芸術村において、川崎医療福祉大学の小野寺 昇 副学長による「エミール・ザトペックとインターバルトレーニング」と題した特別講演が行われた。受講者 18 名。その後、秋吉台のカルスト台地でウォーキング大会を行った。(濱本)

18 日医第 6 回地域医療対策委員会 (11 月 24 日)

委員会報告書の素案について協議し、次回委員会で最終調整が行われることとなった。(弘山)

19 やまぐち糖尿病療養指導士第 10 回レベルアップ講習会 (11 月 25 日)

周南市立新南陽市民病院の松谷 朗 院長による「腎症予防・進行阻止を目指した治療と療養指導を考える」と題した講義の後、実習では「腎症重症化予防指導」について、済生会山口総合病院の今井 剛 腎臓内科部長と井本佳世子 栄養科長により Q&A 方式で行われた。受講者 219 名。(藤本)

20 山口県医療事故調査委員・郡市医師会医療事故調査担当理事合同協議会

(11 月 25 日)

医療事故調査制度の施行から 2 年を経て、山口県医療事故調査委員、郡市医師会及び医療事故調査支援団体の情報共有を目的として、本会の林専務理事より「医療事故調査制度の現状について」講演後、早稲田大学大学院法務研究科の和田仁孝教授による特別講演「医療メディエーション（対話による紛争調整）」を行った。（中村）

21 母体保護法指定医師研修会（11 月 26 日）

「母体保護法指定医師の指定基準」に則ったカリキュラムにおいての研修会を開催した。受講者 57 名（県内 52 名、県外 5 名）。（藤野）

22 第 18 回山口県介護保険研究大会（11 月 26 日）

基調講演「なじみの地域で最期まで過ごすためのサポートをするために～ホームホスピスの実践を通して～」（講師：認定 NPO 法人ホームホスピス宮崎の市原美穂 理事長）及び 2 会場にわかれて研究発表が行われた。参加者 140 名。（清水）

23 第 6 回西予市お伊ネ賞事業表彰式・日本医師会女性医師支援シンポジウム

(11 月 26 日)

日本医師会、西予市並びに愛媛県医師会の主催により開催された。本賞は、日本初の産科女性医師である楠本伊ネ氏の功績を顕彰し、女性の活躍推進を図ることを目的に女性医師の研究や医療活動を奨励表彰するために設けられたものである。第 1 部では、西予市お伊ネ賞事業説明及び表彰式、第 2 部では、日本医師会女性医師支援シンポジウムとして、「健康寿命と輝き思考～素敵に歳を重ねよう～」 「女性医療職の輝く明日へ～地域の健康を目指して～」の基調講演 2 題、「安心して暮らせる地域づくり」をテーマとしたパネルディスカッション・意見交換が行われた。（河村）

24 山口県報道懇話会との懇談会（11 月 29 日）

中村理事より AI と医療について、沖中常任理事より医師の労働時間の制限と地域医療への影響についての情報提供が行われ、その後、意見交換を行った。（今村）

25 第 2 回郡市医師会地域医療担当理事協議会（11 月 30 日）

県医療政策課より、第 7 次山口県保健医療計画（素案）及び今後のスケジュールの説明及び療養病床転換意向等調査（平成 29 年度 2 回目）の調査結果について報告が行われた。本会からは、次期計画に掲載する「5 疾病及び在宅医療」の医療機関リストの作成について、郡市医師会に対して協力依頼を行った。（弘山）

26 第 2 回学校心臓検診検討委員会（11 月 30 日）

平成 29 年 12 月 3 日（日）に開催される「学校心臓検診精密検査医療機関研修会」及び研修後アンケートについて協議した。また、平成 20 年 3 月に改訂された「心電図判断基準（学校心臓検診二次検診呼び出し基準）」について見直し、内容を検討することとなった。（藤本）

27 個別指導「山口市」（11 月 30 日）

診療所 9 機関について実施され立ち会った。

（萬、清水、船津、山下）

28 山口県在宅医療推進協議会（11 月 30 日）

将来の在宅医療の需要増加に対応するため、その在り方や進め方について協議した。

（河村）

29 山口県母子保健対策協議会不妊相談専門委員会（11 月 30 日）

県立総合医療センターの「女性のなやみ相談室」内に設置された「女性健康支援センター・不妊専門相談センター」及び県健康福祉センターにおける平成 28 年度の相談実績、不妊治療費助成制度の助成実績、不妊を考える集い「もっと知りたい！不妊のこと」の開催実績について報告があった。その後、来年 3 月に開催する「不妊を考える集い」や、来年度の県健康福祉センターにおける不妊専門相談について協議した。

（藤野）

30 産業医研修会・産業医部会総会（12 月 2 日）

研修会は、山口労働局健康安全課長の藤村祐彦 氏から「労働安全衛生法について」、産業医科大学保健センター副センター長の立石清一郎 先生から「治療と職業生活の両立支援～意見書・復職診断書の書き方～」についての講演が行われた。産業医部会総会では、平成 28 年度事業報告及び決算報告、平成 29 年度事業計画について説明があり承認された。参加者 98 名。（藤本）

31 平成 29 年度家族計画・母体保護法指導者講習会（12 月 2 日）

「産婦人科領域における医療安全」をテーマにシンポジウムが行われた。(1) 母体保護法指定医師の指定基準モデルの改定、(2) 産科麻酔における医療安全、(3) 医療事故調査制度の現状、(4) 最近の母子保健行政の動き、についての講演及び指定発言が行われた。（藤野）

32 学校医研修会・学校医部会総会・予防接種医研修会・学校心臓検診精密検査医療機関研修会（12 月 3 日）

学校医研修会では、県立総合医療センター小児科診療部長の長谷川真成 先生から「学校における食物アレルギー対応」について、山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座助教の福田 謙 先生から「成長曲線の注意点と活用」について講演が行われた。予防接種医研修会では、下関市立市民病院小児科部長の河野祥二 先生から「予防接種を実施されるすべての先生方へー予防接種ガイドライン 2017 年度版を活用するー」について、学校心臓検診精密検査医療機関研修会では、山口県医師会学校心臓検診検討委員会委員長の砂川博史 先生から「先天性心疾患術後児童生徒の学校における実態と課題～学校心臓検診の結果より～」について、それぞれ講演が行われた。学校医部会総会では、平成 28 年度事業報告及び平成 29 年度事業計画案が説明され、承認された。受講者 86 名（藤本）

33 福岡県医師会創立 70 周年記念式典・祝賀会、日本医師会横倉会長のアジア大洋州医師会連合会長・世界医師会会長就任をお祝いする会（12 月 3 日）

創立 70 周年記念式典では、歴代会長等への感謝状贈呈式及び 70 年の歩みがスライド映像により紹介された。会長就任をお祝いする会では、麻生太郎 副総理兼財務大臣・金融担当大臣、福岡県知事等の祝辞後、祝宴が行われた。（河村）

34 日医第 7 回社会保険診療報酬検討委員会（12 月 6 日）

中央情勢等の報告後、日医会長諮問②「入院外における基本診療料のあり方」の答申について審議を行った。（萬）

35 情報通信訓練/衛星利用実証実験 近畿大震災想定訓練「TV 会議」（12 月 6 日）

平成 25 年 1 月に、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）との間で締結した協定に基づき、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）とともに実施。NTT ドコモも参画。近畿大震災（南海トラフ地震のうち、四国沖で発生する南海地震）を想定した衛星利用実証実験（防災訓練）が行われた。実際に大規模災害が発生したときに日本医師会が行わなければならない業務内容について、超高速インターネット衛星「きずな」と NTT ドコモ「ワイドスターⅡ」を使って ①災害発生時における日本医師会・被災都道府県医師会間での協議、②日本医師会から都道府県医師会に対する JMAT の編成・派遣の要請、③被災都道府県医師会等からの現地報告、Web 等による情報共有が行われた。（弘山）

36 広報委員会（12 月 7 日）

会報主要記事掲載予定（1～3 月号）、炉辺談話、県医師会報に関するアンケート調査の結果等について協議した。（今村）

37 会員の入退会異動

入会 6 件、退会 8 件、異動 6 件（12 月 1 日現在会員数：1 号 1,285 名、2 号 866 名、3 号 450 名、合計 2,601 名）。なお、本会定款施行規則第 5 条により、12 月 1 日現在の会員数において次期代議員及び予備代議員の定数が決定した。

医師国保理事会 ー第 14 回ー

1 山口県医師国民健康保険組合の規約及び選挙規程の一部改正について

理事の専決処分により、次期組合会議員の定数変更に伴う規約及び選挙規程の一部改正について協議、議決した。

2 「第 16 回学びながらのウォーキング大会」について（11 月 23 日）

秋吉台国際芸術村で開催。秋吉台科学博物館の藤川将之 学芸員による「秋吉台を楽しもう！」と題した講演後、秋吉台を約 6 km ウォーキングをした。参加者 65 名。

（清水）